コロナ禍における インバウンド市場の動向・意識

観光政策研究部 活性化推進室 主任研究員 柿島 あかね



本日の内容

- 1 コロナ禍におけるインバウンド市場の動向・意識 →「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」の結果に基づいて報告
 - 1 コロナ禍におけるレジャー全般の実施意向
 - 2 新型コロナ流行収束後の海外旅行
 - 3 新型コロナ流行収束後の訪日旅行
- 2 インバウンド市場の回復に向けて

1 コロナ禍におけるインバウンド市場の動向・意識

調査概要

調查名 DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度新型コロナ影響度 特別調査)

調查方法 インターネットによる調査

2020年6月2日~2020年6月12日(第1回) 調査実施時期 2020年12月1日~2020年12月12日(第2回)

韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、 オーストラリア、イギリス、フランスの12地域 ※中

国は北京および上海在住者のみ(割合は北京50%:上海50%) 調査地域

※アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの4地域は2016年度調査から追加

20歳~59歳の男女、かつ、海外旅行経験者 ※中国-香港・マカオ間、マレーシア・シンガポール間、タイ・マレーシア間、アメリカ・カナ

ダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験 調查対象者

から除く

上記各地域に居住する住民 ※各回における内訳は下図参照

有効回答数 6,266人 (第1回)

6,139人(第2回)

第1回 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体						
- 現日			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
男性	3,1 <i>77</i>	2,101	266	264	261	252	264	266	263	265	1,076	271	268	259	278		
女性	3,089	2,093	263	284	269	259	257	251	257	253	996	249	257	246	244		
総計	6,266	4,194	529	548	530	511	521	517	520	518	2,072	520	525	505	522		

第2回 (人)

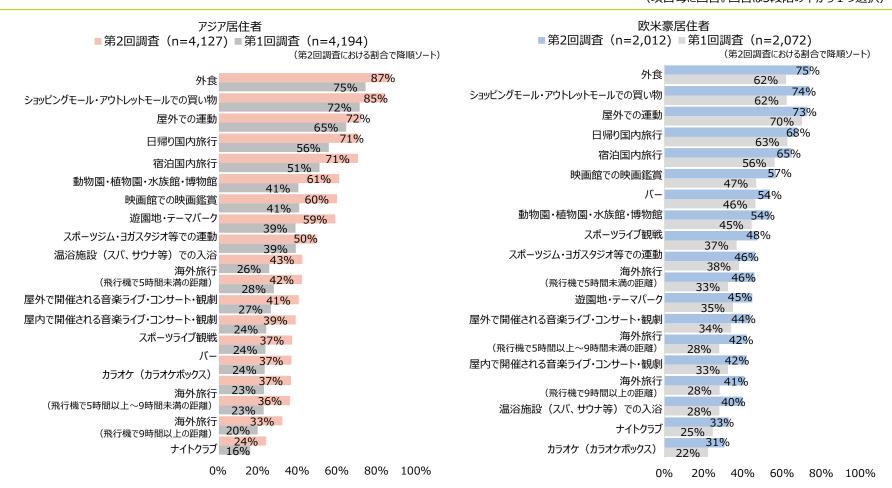
福口	全体	アジア全体	全体												
項目			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
男性	3,097	2,061	259	264	250	251	264	258	254	261	1,036	260	264	252	260
女性	3,034	2,061	271	272	249	248	251	255	255	260	973	243	241	253	236
その他	8	5	1	1	1	0	1	1	0	0	3	0	2	1	0
総計	6,139	4,127	531	537	500	499	516	514	509	521	2,012	503	507	506	496

1

コロナ禍におけるレジャー実施意向

実施意向は日常生活圏内レジャー→国内旅行→海外旅行の順 レジャーの実施意向は半年間で上昇、アジアで顕著

今後6か月の間に実施するであろうレジャー全般について※1※2 (項目毎に回答。回答は5段階の中から1つ選択)



※1:「実施する」または「おそらく実施する」と回答した対象者の割合

※2:調査時点から「今後6ヶ月」としているため第1回調査は2020年12月まで、第2回調査は2021年6月までに実施するであろうレジャーを尋ねている 出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査) |



感染不安が高いと海外旅行の実施意向は低下する傾向 一方で感染不安とは関係なく、海外旅行実施意向が高い国も

今後の海外旅行の実施意向と感染不安※1

海外旅行(飛行機で5時間未満の距離※2)の実施意向と感染不安



海外旅行(飛行機で9時間以上の距離※3)の実施意向と感染不安



- ※1:海外旅行意向は今後6カ月以内に海外旅行を「実施する」「おそらく実施する」の合計、感染不安は「不安がある」「やや不安がある」の合計
- ※2:海外旅行先として日本が飛行機で5時間未満の距離に主に該当するのは韓国、中国、台湾、香港
- ※3:海外旅行先として日本が飛行機で9時間以上の距離に主に該当するのはアメリカ、イギリス、フランス

出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査) 」



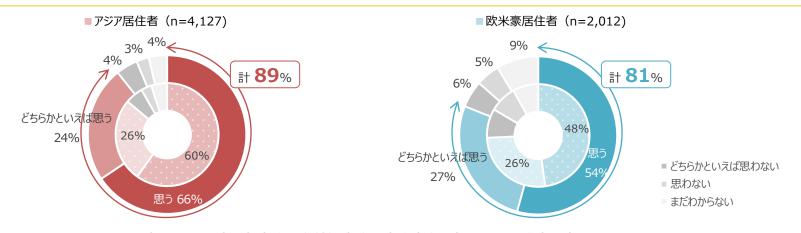
2

新型コロナ収束後の海外旅行実施意向

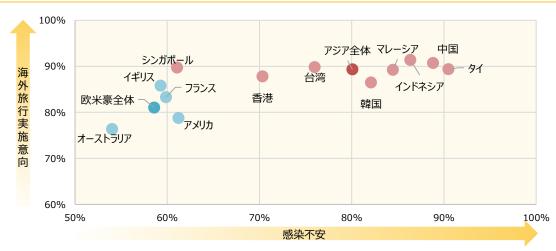
新型コロナ収束後の海外旅行実施意向はアジア・欧米豪とも半年間で上昇

新型コロナ流行収束後の海外観光旅行実施意向

(回答は1つ)



新型コロナ流行収束後の海外観光旅行実施意向と新型コロナ感染不安※1



※1:海外旅行意向は今後6カ月以内に海外旅行を「実施する」「おそらく実施する」の合計、感染不安は「不安がある」「やや不安がある」の合計

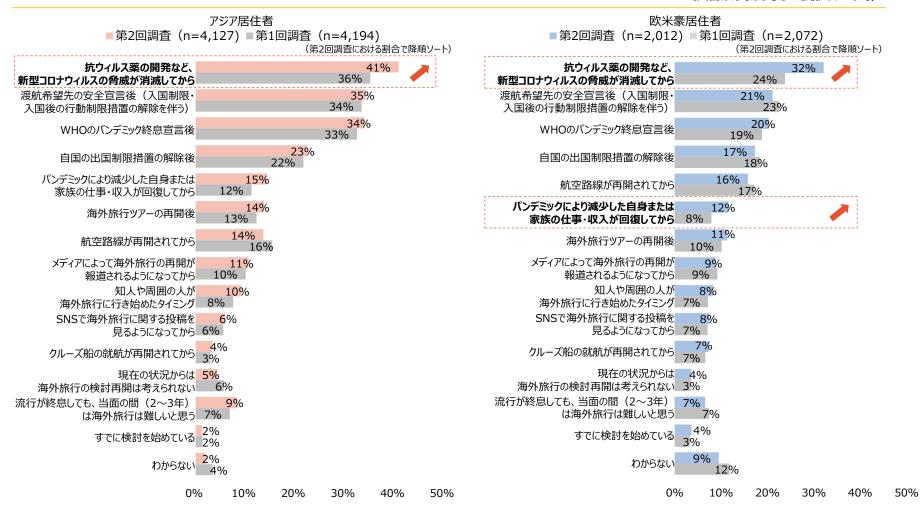
出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査)」



海外観光旅行の検討を再開するタイミングは "新型コロナウイルスの脅威が消滅してから"

次に海外観光旅行の検討を再開するタイミング

(回答はあてはまるものを最大3つまで)

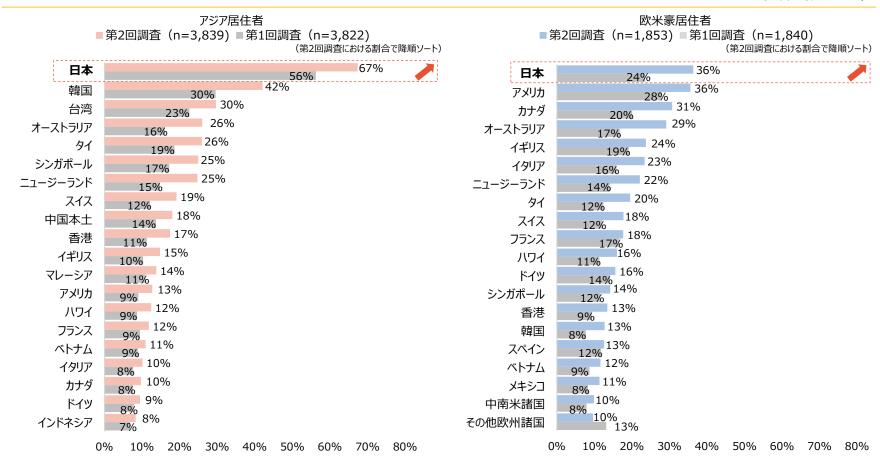


出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査) 」

次に海外観光旅行したい国・地域の1位は引き続き「日本」(全国籍・地域で57%) 第1回調査からアジア・欧米豪ともに選択率が上昇し、欧米豪でも1位に

新型コロナ収束後に観光旅行したい国・地域

(回答は最大5つまで)



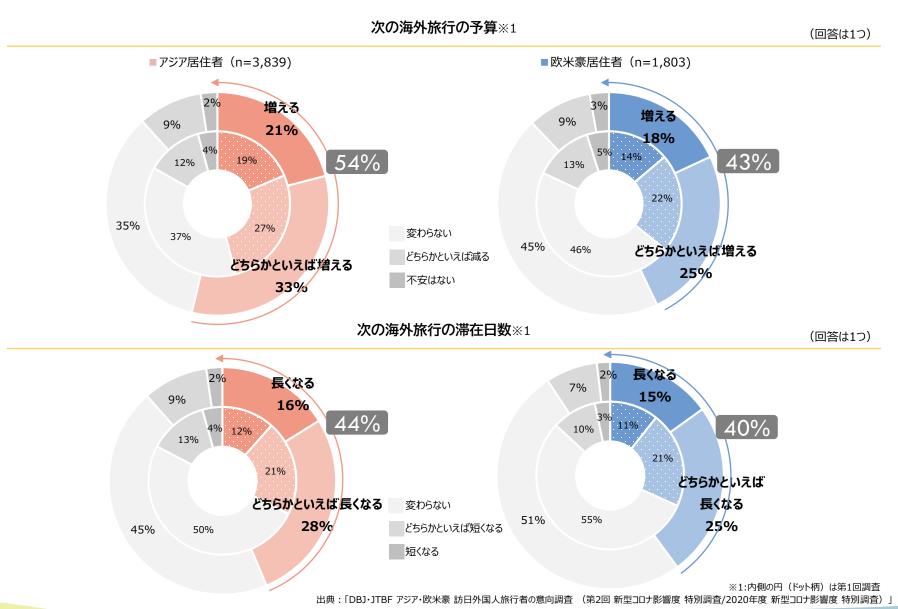
^{※1} 新型コロナウィルス終息後に海外観光旅行について「(したいと)思わない」を選択した対象者および次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を 除く全員から回答を得た。

出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」



^{※2} 全体の割合において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」または「近隣国」が同じ場合、当該国・地域の回答はサンブル数から除いている。

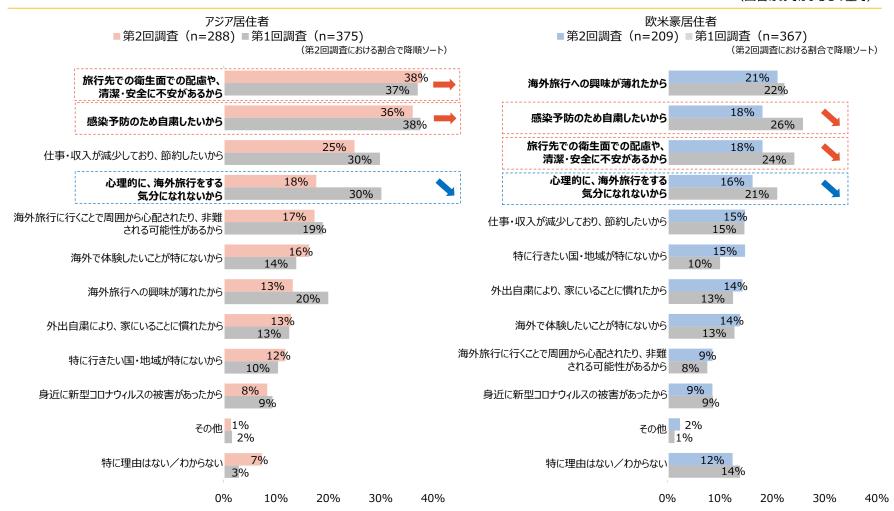
次の海外旅行は予算増加、日程長期化の傾向



海外旅行をしたくない理由はアジアで感染不安、欧米豪で海外旅行への興味低下 アジアでは感染不安継続、欧米豪では感染不安が低下

新型コロナ流行の収束後においても海外旅行をしたくない理由

(回答はあてはまるもの全て)



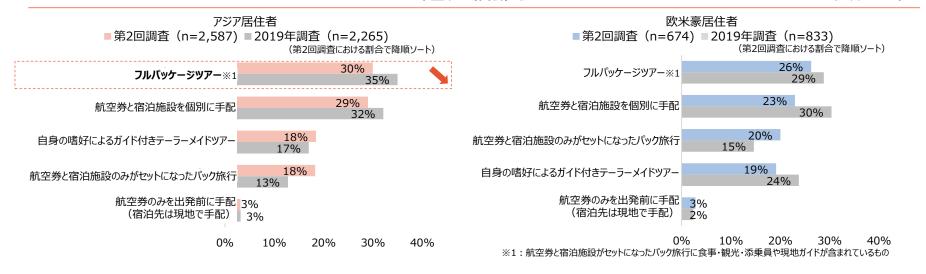
出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査) 」

新型コロナ収束後の訪日旅行

旅行形態、同行者ともに行動経路を把握できる人との行動を好む傾向

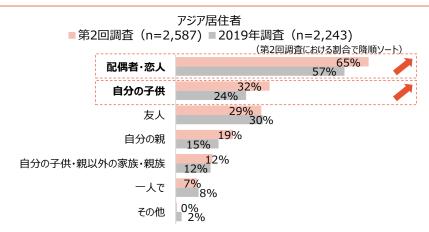


(回答はひとつ)



希望する同行者※2

(回答はあてはまるものすべて)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

欧米豪居住者

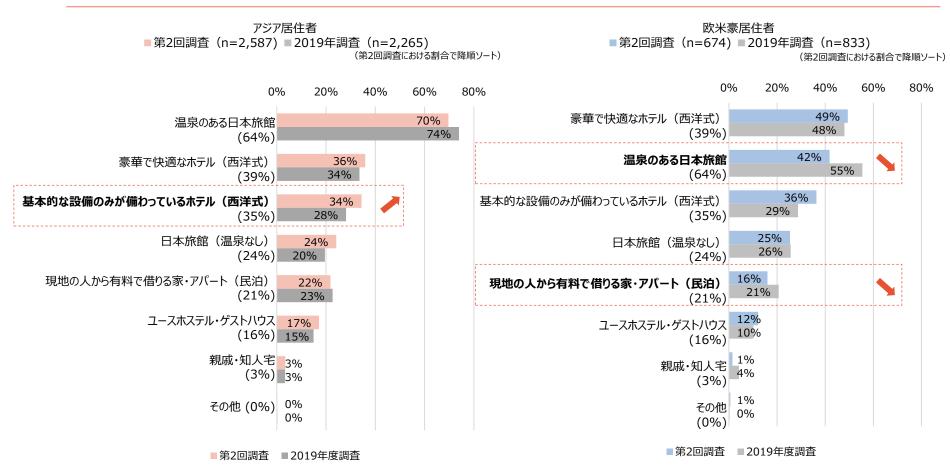
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% ※2:2019年調査は、「訪日経験者」に日本旅行時の同行者を聴取した結果

出典: 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2019年度版) |

アジア・欧米豪ともに宿泊施設のタイプ別選択は大きな変化なし 欧米豪では「温泉のある日本旅館」に関する情報発信が重要

希望する宿泊施設

(回答はあてはまるものすべて)



※項目のカッコ内は、回答者全体の数値

出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2019年度版) 」



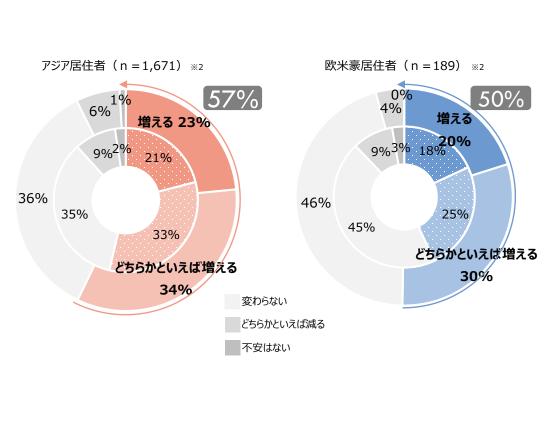
次回の訪日旅行の予算は海外旅行全般と比較して、増加傾向 費目別では、欧米豪では宿泊施設、アジアでは食事の予算増加に期待



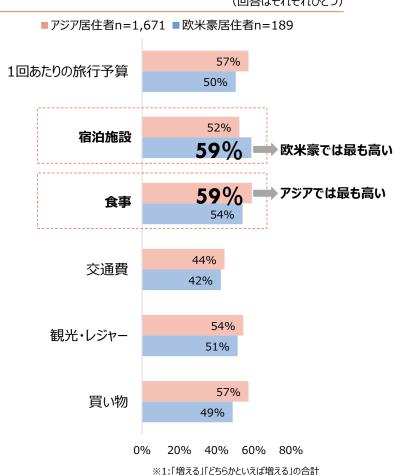
(回答はひとつ)

日本で使う1回あたりの予算増加(費目別)※1の割合

(回答はそれぞれひとつ)



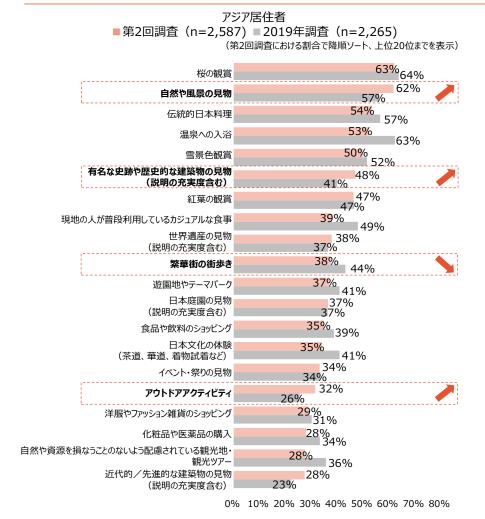
※1:日本旅行希望者かつ訪日旅行経験者 ※2:内側の円(ドット柄)は訪日旅行を含む次の海外旅行全般の予算



訪日旅行で体験したいことは、新型コロナ流行以前と比べ 密になる場所を避け、感染リスクが低い場所で体験できることを求める傾向

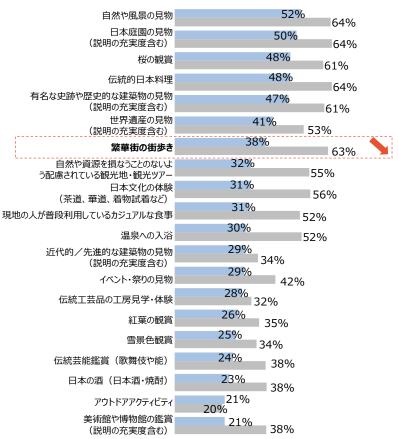
訪日旅行で体験したいこと

(回答はあてはまるものすべて)



欧米豪居住者 ■第2回調査(n=674) ■ 2019年調査(n=833)

(第2回調査における割合で降順ソート、上位20位までを表示)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)



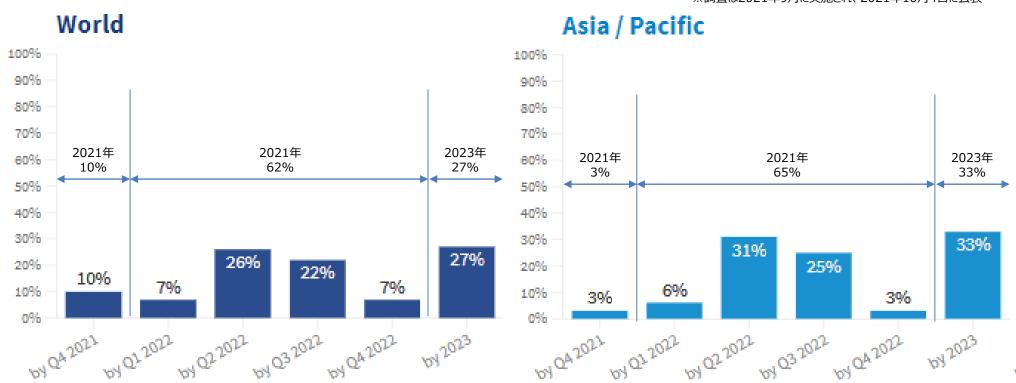
2 インバウンド市場の回復に向けて

旅行市場回復時期一UNWTOの予測から一

UNWTOの専門家委員の65%がアジア太平洋地域のインバウンド市場回復開始を2022年中と予想

インバウンド市場の回復開始時期について

※調査は2021年9月に実施され、2021年10月4日に公表



UNWTO conducted a global survey among its UNWTO Panel of Tourism Experts on the impact of COVID-19 on tourism and the expected time of recovery.

Data as collected by UNWTO. September 2021. Published: 04/10/2021

出典: UNWTO World Tourism Barometer Volume19 Isuue5 2021(UNWTO) https://www.unwto.org/unwto-world-tourism-barometer-data

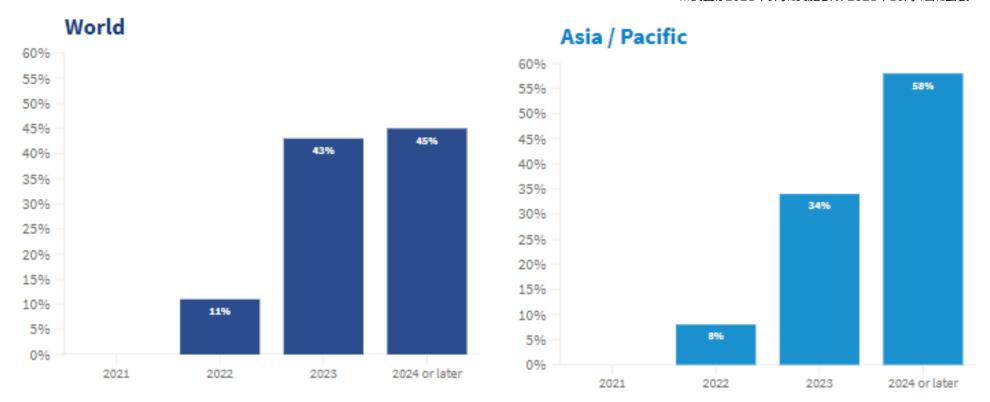


旅行市場回復の見通し一UNWTOの予測から一

アジア太平洋地域のインバウンド市場の2019年水準への回復は2024年以降が約6割

2019年水準への回復時期

※調査は2021年9月に実施され、2021年10月4日に公表



UNWTO conducted a global survey among its UNWTO Panel of Tourism Experts on the impact of COVID-19 on tourism and the expected time of recovery. Data as collected by UNWTO, September 2021. Published: 04/10/2021

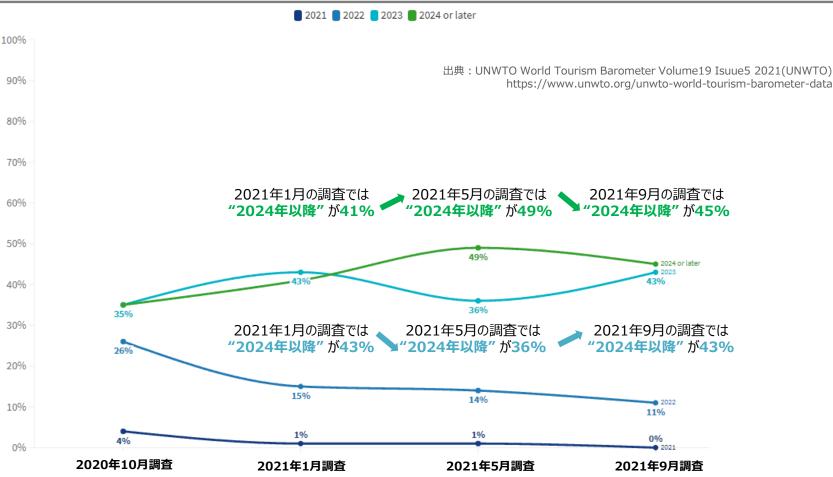
出典: UNWTO World Tourism Barometer Volume19 Isuue5 2021(UNWTO) https://www.unwto.org/unwto-world-tourism-barometer-data



旅行市場回復の見通し一UNWTOの予測から一

調査回ごとに予想が異なる

2019年水準への回復時期(調査回ごとの推移)



UNWTO conducted a global survey among its UNWTO Panel of Tourism Experts on the impact of COVID-19 on tourism and the expected time of recovery. Data as collected by UNWTO, September 2021. Published: 04/10/2021

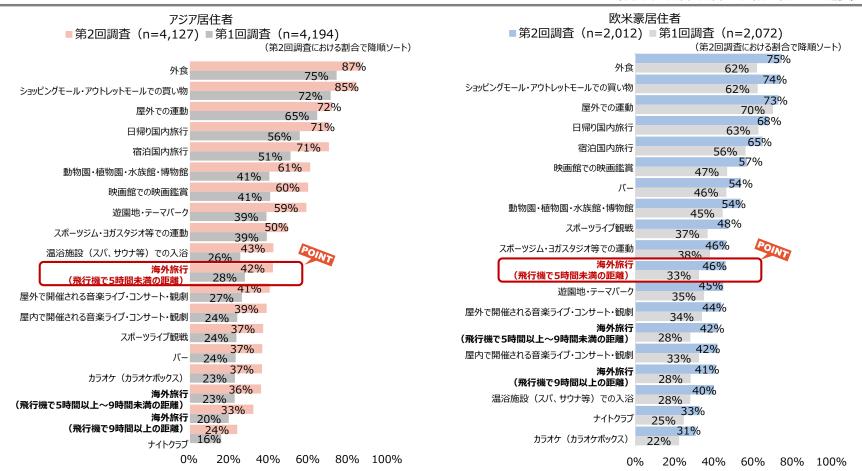


インバウンド市場回復期はショートホールから

海外旅行で飛行機で5時間未満の距離として日本が該当するのは東アジア

【再掲】今後6か月の間に実施するであろうレジャー全般について※1※2

(項目毎に回答。回答は5段階の中から1つ選択)



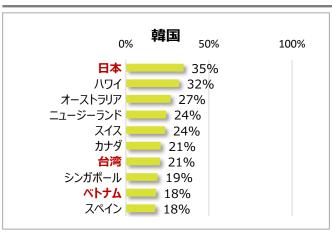
※1: 「実施する」または「おそらく実施する」と回答した対象者の割合
※2: 調査時点から「今後6ヶ月」としているため第1回調査は2020年12月まで、第2回調査は2021年6月までに実施するであろうレジャーを尋ねている
出典: 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)

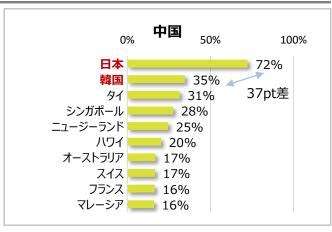


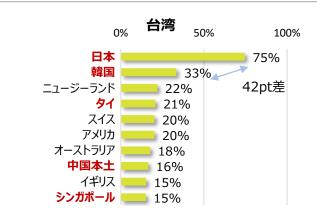
東アジア各国・地域で日本の人気は根強い

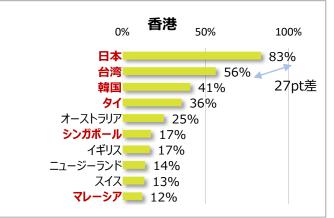
アジア各国・地域におけるショートホールデスティネーションと比べても日本人気は根強い

東アジア各国・地域における新型コロナ収束後に海外観光旅行したい国・地域(上位10ヶ国・地域) (各国地域から飛行機で5時間未満の距離に該当する場合は赤字)

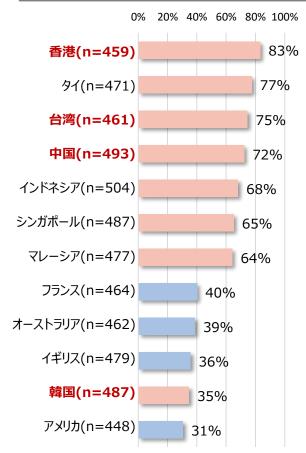








新型コロナ収束後の日本への来訪意向



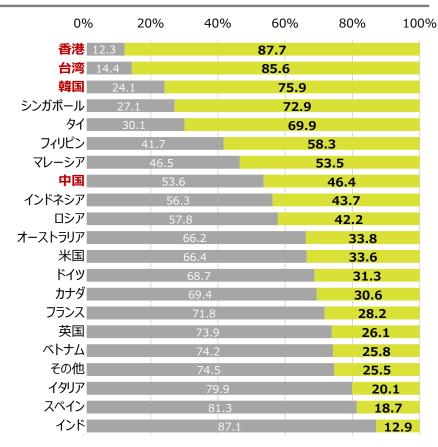
出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」



東アジア市場は訪日リピーターが中心

東アジアでは訪日リピーターの割合が高い

訪日リピーター割合(観光・レジャー目的)

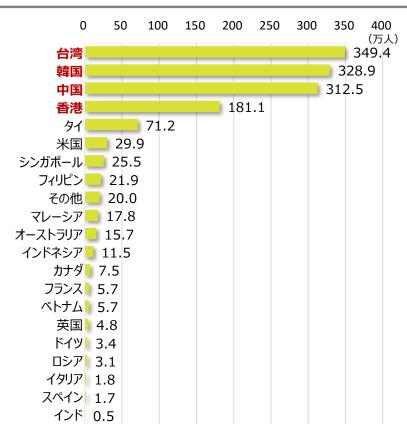


■初訪日者 ■訪日リピーター

出典:「訪日外国人消費動向調査2019」(観光庁)」

訪日リピーター数の上位は東アジア

訪日リピータ数※1(観光・レジャー目的)



※1:JNTO「訪日外客数」(2019) に観光庁「訪日外国人消費動向調査」(2019) の集計表 (表-1) 「主な来訪目的」の「観光・レジャー」の割合と、(参考4) 「日本への来訪回数」の「2回目」以上の割合を乗じて算出した推計値

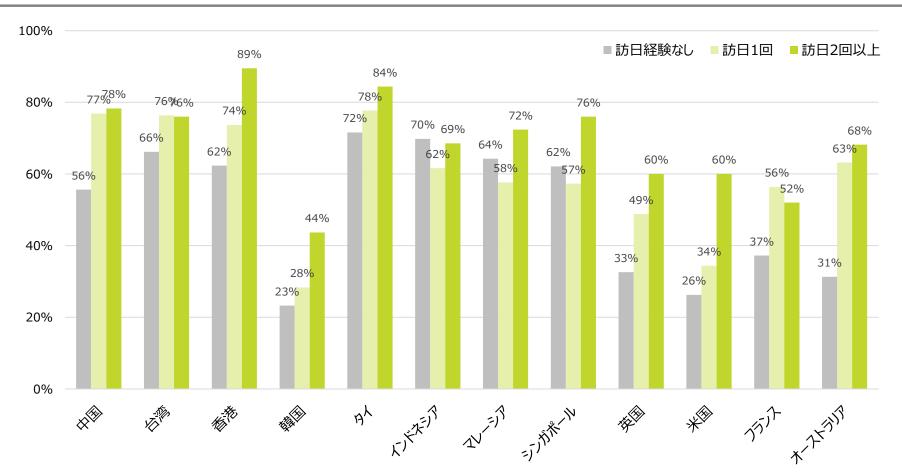
資料:「訪日外国人消費動向調査2019」(観光庁)より作成」



訪日回数別のコロナ収束後の訪日意向

訪日回数が増えると訪日意向が高くなる

訪日回数別の訪日意向割合



出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」

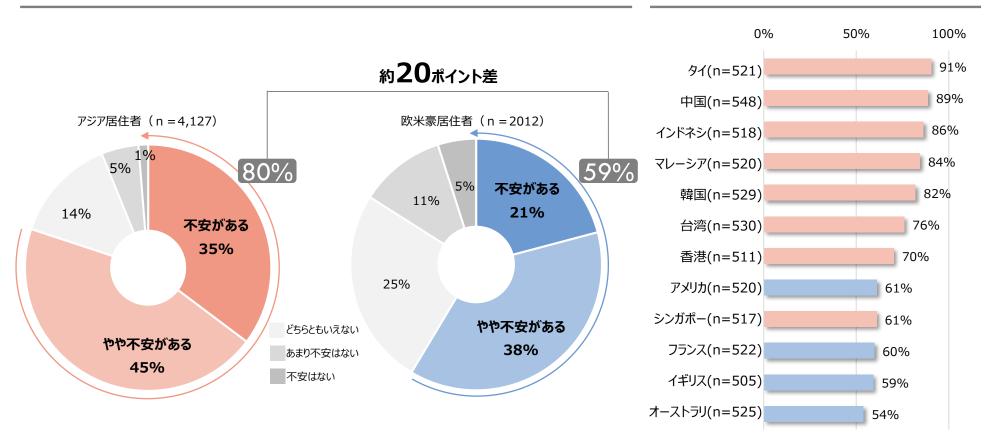


東アジアでは特に"感染不安の解消"が重要一感染不安一

アジアでは欧米豪に比べて感染不安が強い

感染に対する不安(アジア・欧米豪別)

感染に対する不安(国・地域別)※1



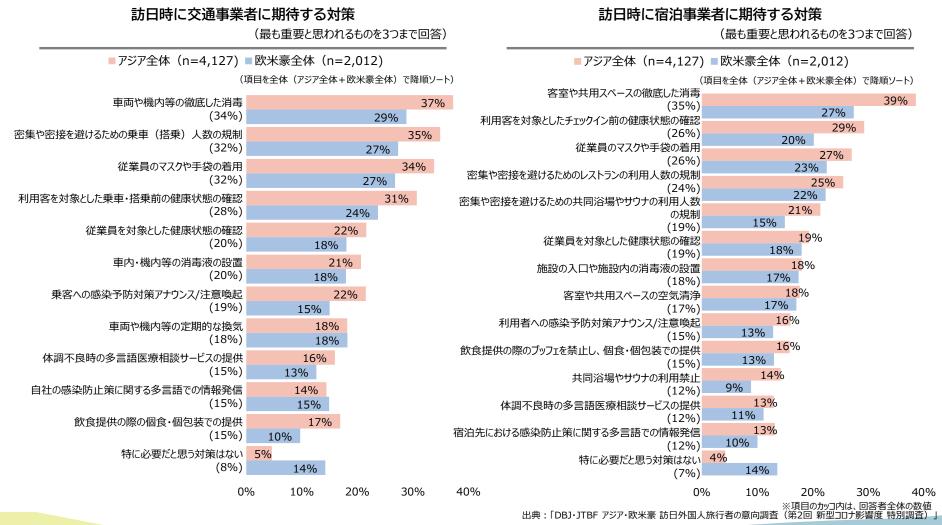
※1:「不安がある」または「やや不安がある」と回答した対象者の割合

出典:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査/2020年度 新型コロナ影響度 特別調査) 」



東アジアでは特に"感染不安の解消"が重要―事業者対策―

全体的にアジアの選択率が高く、事業者対策を重視する傾向



高い訪日意向を維持するために現地での需要喚起を

実施率の高い活動を活かした訪日意向の喚起や、訪日意向喚起効果が高い活動の実施率向上が課題

日本に関する活動の実施状況

(回答はあてはまるもの全て)

■アジア全体 (n=4,127) ■欧米豪全体 (n=2,012)

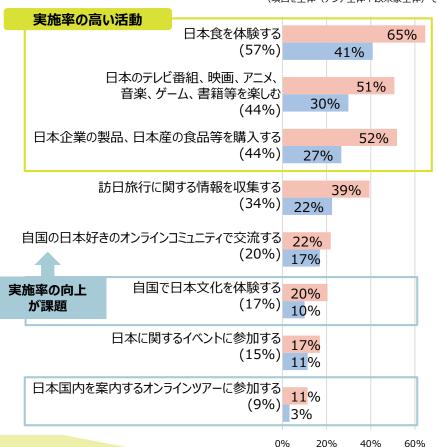
(項目を全体(アジア全体+欧米豪全体)で降順ソート)

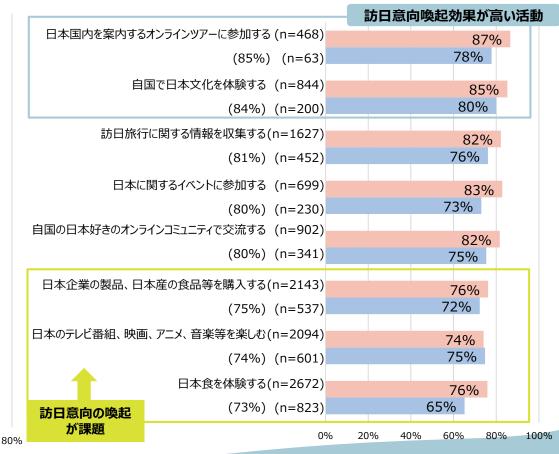
日本に関する活動を実施したことによる訪日意向の高まり

(項目毎に回答。回答は5段階の中から1つ選択)

■アジア全体(n=4,127) ■欧米豪全体(n=2,012)

(項目を全体(アジア全体+欧米豪全体)で降順ソート)





事例:食を組み合わせたインバウンド向けオンラインツアー

海の京都 与謝娘酒造オンラインツアー (海の京都DMO)

鹿児島市内と握り寿司体験オンラインツアー (鹿児島県・鹿児島県観光連盟)

実施日 2021年3月27日

ターゲット市場 台湾

内容

インフルエンサーを通じて酒蔵の魅力を知って もらうツアー

参加者(先着50名)には事前に日本酒が プレゼントされ日本酒を飲みながらオンライン ツアーに参加

• ツアー参加後に紹介された商品を購入することも可能

出典: https://www.uminokyoto.jp/img_data/INF527_2.pdf

実施日 2020年10月20日

ターゲット市場 ベトナム

内容

・ コロナ禍で途絶えてしまったベトナムとの交流の 維持・拡大を目的としてオンラインツアーを開催。

ベトナムの日本料理店に参加者を集め、県内 をベトナム人ガイドの案内で周遊

• 参加者は**日本料理店でリモートで日本人食** 人の指導を受けながら握り寿司体験を行う



出典: https://songhantourist.com/pages/tour-online-kagoshima/

コロナ禍における現地での"日本体験活動"一香港の場合一

コロナ禍で現地企業と自治体や国内企業のコラボレーションが活発化

飲食

- 鹿児島県の現地の高級フランス料理店でのプロモーション
- 岡山県のカフェでのプロモーション
- 沖縄県の泡盛を扱う専門バー(AWAAWA)のオープン

宿泊施設

• 青森県×Grand Hyatt Hong Kong

小売

- Harbour Northでの藤棚とあじさいの庭園
- Park Centralにおける長崎県キャンペーン

旅行会社

- 旅行会社EGLの郊外型店舗における日本産食材の販売
- 旅行会社PackageTourが全農と連携して生鮮食品の販売
 - 日本体験を扱う業種の多様化
 - •
- 競争激化
 - ・ 日本体験の質の向上



出典:琉球新報デジタル(2021年10月5日) https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1402717.html



出典:"【本地花海】北角匯戶外3,000呎紫色花海 20米長夢幻紫藤隧道全方位打卡 TOPICK.hket.com(2020年8月12日)

インバウンド市場の再開に向けて

インバウンド市場の具体的な再開時期は不透明

ワクチン接種が開始され、以前よりは前進したが具体的再開時期は不明

収束後の海外旅行意向は高い

収束後の海外旅行意向は87%(全国籍・地域) (調査結果)

収束後に希望する海外旅行先では日本1位

収束後に希望する海外旅行先は日本が57%で32地域中1位(全国籍・地域) (調査結果)

海外旅行再開には感染不安の払しょくが必須

特にインバウンド市場の7割を占める東アジアの感染不安は引き続き高く、 これが払しょくされないと海外旅行を実施しない傾向 (調査結果)

高い訪日意向を維持・喚起するための取組が必要

感染不安が低くなるまで、高い訪日意向を維持・喚起するための取組が必要 特に東アジアは食を中心に日本に関する活動の実施率が高い (調査結果)

実施率の高い食関連の活動の訪日意向喚起向上訪日意向喚起に有効なオンラインツアーの実施率向上

(調査結果

コロナ後のキーワード

密回避

収束後の訪日旅行では、「旅行形態」、「同行者」、「訪日旅行で体験したいこと」の調査結果から、密になる状況を避ける傾向

長期化

• 収束後の海外旅行ではコロナ以前と比較して滞在日数が長期化すると回答した人が約4割

消費単価増

• 次の訪日旅行でコロナ以前と比較して予算を増加する人はアジア6割、 欧米豪5割

第31回旅行動向シンポジウム 資料(主催:公益財団法人日本交通公社)

本資料の引用や転載をご希望の場合は、下記までご連絡ください

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部 企画室(<u>zaidan_info@jtb.or.jp</u>)